

### 社会福祉法人愛篤福祉会は、利用者さんが安心して暮らせる施設づくりを目指します

#### 計報

令和七年十一月二十一日に本法人の創立、初代理事長、遠藤節子が逝去致しました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝致しますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。理事長は平成元年、好間町で障がいを持つ子の母親たちと小規模作業所「工房阿列布」を立ち上げ以来三十七年余、地域福祉の発展に尽力いたしました。

障がいのある子を持つ家族のために「親亡き後の施設」建設を目指し、平成十五年に社会福祉法人愛篤福祉会を設立、「工房阿列布」を内郷に新築移転させ、法人の礎を築きました。

平成二十三年三月に発生した東日本大震災と福島第一原発事故、令和元年

一〇月の好間、平窪地区に甚大な被害をもたらした大水害、その後現在まで続く新型コロナウイルスへの対応と未曾有の状況の中で、理事長として難しい経営判断を下し、法人、施設の安定的な経営をして参りました。その間、国の障害福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変わり、自身が望んだ「親亡き後の施設」の形も方針を修正せざるを得ませんでした。

新たな形として令和三年に「静修苑」をグループホームに転換し、新たな展開を目指した矢先の逝去でした。

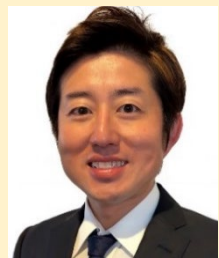
今後は、新しく就任した阿部洋介理事



長のもと、役職員一同前理事長の遺志を継ぎ法人の更なる発展を目指して参ります。

#### 就任のあいさつ

##### 理事長 阿部 洋介



自身の理事長就任挨拶の前に理事長・遠藤節子先生が逝去されました。これまでの福祉の現場への御尽力、本法人の発展

のご功績に、改めて深く敬意を表すと共に、心より哀悼の意を表します。

情熱は炎のような紅葉。夢は金色に輝く銀杏。山はまるで遠藤先生が歩んできた福祉の道のように彩っていた十一月二十一日。

色付いたまま散る落葉の如く無念にもご逝去されました。先生のご意志は土となり栄養となり必ずや輝かしい愛篤福祉会の未来という大きな山の彩りとなる事でしょう。ご冥福をお祈りいたします。

改めましてこの度理事長に就任致しました阿部洋介と申します。

昭和五十九年八月十三日東京都出身A型で現在四十一歳です。ここでの自己紹介はあえてこれくらいにしまして皆様とは直接身の上話をして距離を縮めていきたいと思っています。是非コミュニケーションを取りましょう！私の名刺には「理事長」という肩書きがつきました。不快とも取れる一文かもしれませんが、私がここでやることは「清掃係」「福祉を学ぶ」「相談員」「福祉の修行」「試食係」「草むしり」「みんなの

#### 記帳台の設置

本法人では、故人の在りし日の姿を偲べる場所としてご遺族のご了解を頂き「工房阿列布」内に記帳台を設けました。

謹んでご案内申し上げます。



友達」「広報活動」「地域貢献」「イベント作り」きりがありません。ゼロからその階段を一つずつ上っていく私の仕事内容と実力に対し理事長という役職名にギャップを感じております。しかしこの職務には「責任」があります。これは拭えません。逃げもできません。愛篤福祉会に携わる方達の人生がのしかかっています。安心安全な職場、充実した環境、気も心も体も豊かな暮らし。これら全てに先頭で旗を振りいざとなれば責任を負う。若輩たる身でも理事長の重みを全うする固い意志は持たなければなりません。私の名刺に書いてある「理事長」には筆舌に尽くしがたい様々な思いが詰まっています。そしてその思いは行動に変えてカタチにしていけます。全員でスクラムを組み明るく楽しく充実した毎日を送りましょう！愛篤福祉会に携わる方の一つでも多くの「笑顔」のために一生懸命努めさせていただきます！

#### <寄付・物品寄贈の皆様>

松村諭 様、遠藤節子 様、深谷典子 様、深谷雄一郎 様、上田亜希子 様、後藤公子 様、福島県立平支援学校 様、

遠藤哲郎 様、只野康子 様、大平嘉人 様、常磐パッケージ株式会社 様 <順不同です> ありがとうございました。